

永井院長の論文が英文学会雑誌に掲載されました。内容は101歳9カ月男性の直腸癌に対する腹腔鏡手術に成功したことについてです。患者さんは手術後17日目に、歩いて退院され、その後も1年以上お元気に過ごされているようです。永井院長によると、「多分、世界最高齢の直腸がん腹腔鏡手術成功例でしょう!」ということです。興味のある方はこちらを参照してください。

Nagai Y, Togo N, Nakagi M, Takai S, Tanaka M, Yasuoka H, Tatsumi T : Successful laparoscopic treatment of advanced rectal cancer in an extremely elderly man (101 years and 9 months) : Asian J Endosc Surg 11:50-52, 2018.